

公明党
NEW KOMEITO

Go Go HIGO ジャーナル journal

2011年
初夏号

発行：肥後 洋一郎
寝屋川市日之出町2-5
園貫々堂ビル203号
TEL (072) 812-3140

支えあう日本 心をつなぐ政治を！

ごあいさつ



皆様の真心からのご支援を賜り、先の大阪府議会議員選挙におきまして、初当選をさせていただきますました。

愛する寝屋川と大阪府の発展のため、全力で働いてまいります。

現在、寝屋川市内の四つの駅等で、ご挨拶、また、議会の報告等をさせていただいております。

五月十九日からは、府議会定例会が、開催され、六月三日には初めて議場で討論に立たせていただきました。

東日本大震災という未曾有の大震災が起きているなかで、「東日本大震災への支援」「地域の防災」の二つは、最重要の政治課題です。私たち公明党は今こそ、現場からの提言と行動を強める時だと思っております。

「大衆とともに」との立党精神を常に胸に刻み、「夢と希望あふれるまち・大阪」「人と地域が輝くまち・ねやがわ」の実現へ全力で取り組んでまいります。今後とも、皆様方のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

大阪府議会議員 肥後洋一郎

公明党府会議員団で、大阪府の施設を視察してきました。

新人議員研修で、府内の主要施設を見学・視察に行きました。

中部広域防災拠点（八尾市）、府立産業技術総合研究所（和泉市）、テクノステージ和泉、大阪府立大学（堺市）、防災情報センター（大手前）、大阪しごと館（中央区）、津波高潮ステーション（西区）、咲洲庁舎、府立成人病センター（森ノ宮）を2日間に渡って視察しました。（5月10日、13日）

府政の規模の大きさを認識するとともに、ここで得た情報・知識を今後の行政活動に活かして参りたいと実感しました。



中部防災拠点（八尾市）多くの防災備品が備えてあります。



建て替えが検討されている成人病センター



大阪府立大学内の植物研究センター（完全人工光型の国内最大施設です）



津波・高潮センター（必見の価値あります）

5月議会定例会が開催されました。



6月3日、定例会で討論に立ちました。

審議ゼロ「維新の会」の単独強行採決！

6月4日、会期を1日延長し、5月定例議会が終了しました。議員提案された条例案のほとんどが、過半数を占める維新の会による単独採決で成立しました。（国家起立斉唱条例、議員定数削減条例、大都市制度検討協議会設置条例等）

- ① 少数意見も聞き、議論を尽くそうとせず結論を急ぎすぎる。
- ② どのような条例案も数の力を頼りに可決してしまう危機感
- ③ 重要な条例案を最終日の閉会間際に上程するという議会運営への軽視・・・などの問題点が浮き彫りになりました。

私たちは、本来あるべき議会制民主主義を取り戻すべく、良識ある議員の結集をはかり、府民の皆様の権利を守り、負託にお応えするため全力で、戦い抜いてまいります。

数の横暴「1票の格差」拡大

議員定数を109から88に削減する条例改正案の審議の進め方などをめぐって会派間の調整がつかず紛糾、採決は深夜までずれ込みました。議員定数の条例改正案は「人口10万人あたり議員1人」を適数として定数を割り出し、現行の選挙区に割り振ったもの。21選挙区で1ずつ定員を削減する。定数は21減となる一方、**一票の格差は、現在の2.2倍から2.88倍に拡大します。**公明は、定数削減自体には賛成するものの、法改正をへて選挙区を衆院小選挙区と同じ19区に合区し、定数を87とする試案を用意。他会派とも同調して、選挙区見直しの検討協議会設置を提案する構えを見せ、維新に条例改正案の取り下げを迫ったが維新は拒否しました。

維新の会は本会議最終日に、いきなり同条例案を議会上程。一切の質疑を行わず強行採決したもので、府議会史上、最大の汚点を残す結果となりました。



	定数	選挙区数	1人区の数	1票の格差
現行	109	62	33	2.2倍
維新（可決）	88	62	48	2.88倍
公明案	87	19	0	1.15倍

維新の会が数で暴走

安心・安全なまち 大阪の実現へ

GPS 波浪計の設置を！

5月27日の大阪府議会の代表質問で、公明党の清水幹事長は、東日本大震災の甚大な被害に言及。「大阪においても東南海、南海地震の発生が危惧されており、府民の命を守るため、緊急地震速報の活用促進やGPS（全地球測位システム）波浪計の津波予報への積極的な運用を進めるべきだ」と提案しました。これに対し府側は、「津波からの迅速な避難行動を促せるGPS波浪計の活用に向け、国土交通省との協議に着手している」と答えた。

GPS 波浪計とは・・・GPS 波浪計とは、GPS 衛星を用いて沖合約20kmに浮かべたブイの上下変動を計測し、波浪や潮汐等の海面変動を直接観測する海象観測機器である。津波による海面の上下動の観測も可能であることから、観測データは気象庁にリアルタイムで提供され、沿岸域での防災対策への広い活用が期待されています。



沿岸域での防災対策が期待されるGPS波浪計